Fusion 360 でロケットペンダントを作成しよう



目次

1.ハートの作り方	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. ロケットペンダントの作り方	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. ハートの作り方

① ハートを書く

スケッチの線分で中心となる線を引きます。	
スケッチの中の【線分】や【スプライン】を使用し、	
先程引いた線を中心としてハートの右半分だけを描いていきます	0

t <i>ī</i> 1		م ۲۶۵۶ •		(#E. 1	3 1 76279•	() 構築・	 検査▼	● 1000000000000000000000000000000000000	119 ×		遥报 *	入力ッチを停止
◀◀ ブラウザ			•									25
⊿ 😥	🚺 (未保存)	•										
DE	2 ビュー管理								/		~	
Į.	🎽 単位:mm								/		1	
D	🖓 🗋 雁点							/				H
D	💡 🛅 スケッチ											長されのよまた引
										0		「取りのの泉を目し
								1				
								6				
		75		Ś				25				Ð
												n.
										< N 100		US
										/		
										/		
											\backslash	
											1	

② ハートを書く

スケッチの中の【ミラー】を選択します。

次に反転したいオブジェクトを選択し、中心となる一番初めに引いた線を選択します。

するとハートの形になります。



③ ハートを立体にする

スケッチを終了し、作成の【押し出し】を選択し、押し出したいハートの面を選択します。 ハートだけでなく、星や簡単な形ならこのやり方で作れるので試してみてください。



2. ロケットペンダントの作り方

①基本の円を作る

1-1

【スケッチ】の【円】の【中心と直径で指定した円】を選択する。 画面を上から見た表示にし、中心から直径 20mm の円を作成します。



1-2 【作成】の【押し出し】を使い、2mm と入力する。



②フタの形にしていく

2-1 次に【修正】の【シェル】を選択し、空洞にしたい面を選択する。



2-2 面を選択したら数字入力に 1.5 と入力する。



2-3 次に底面にエッジをとる為に【修正】の【フィレット】を選択する。

Fusion 360



2-4 (この時、画面を【前】から見た状態にするとやりやすいです。) 数字入力に 2.5 と入力する。



③蝶番をつけるスペースをつくる







3-3 【3-1】で引いた線を選択し、断面サイズに 1.5 と入力する。



3-4 作ったパイプを右側から左側へドラッグ選択し、右クリックして移動を選択します。 横向きの矢印を選択し、5mm と入力し、フタ部分と重なるようにする。



3-5 次に【修正】の中の【結合】を選択します。 ターゲットボディでフタ部分を選択し、ツールボディでパイプを選択します。 操作の中の【切り取り】を選択し、切り取ります。





切り抜き完了!

④フタ部分をコピーする

4-1 左横にあるレイヤーの中の【ボディ】にカーソルを合わせ、 右クリックをし、コピーを選択します。







⑤蝶番をつくる

5-1 途中までは先程【3】のフタに蝶番スペースを切り抜いたやり方とほぼ一緒です。 まず、【スケッチ】の【線分】で 3mm の線を引きます。



5-2 【作成】の【パイプ】を選択し、【5-1】で引いた線を選択、断面サイズ 1.5、断面の長さ0.25 と入力します。 次にここで【空洞】にチェックを入れます。 これでパイプが完成しました。



5-3 パイプを複製していきます。 【5】と同じやり方で、レイヤーボディからパイプのボディを選択します。 レイヤー上で右クリックをし、【コピー】→【貼り付け】をします。 ここで貼り付けをしたパイプが大元のパイプに完全に重なっている形になるので、 下矢印を選択し、3と入力します。 同じやり方でもう1つ作成し、合計3つのパイプを作成します。



⑥蝶番をフタにくっつける

6-1 パイプ3つを選択し、右クリックで移動を選択。 横矢印でフタ側に5mm移動する。



6-2 画面を【前】向きにし、同じようにパイプを選択し、 右クリックで移動を選択し、上矢印で 2mm 移動します。



6-3 パイプとフタ1をくっつけるためにまず、【修正】の【結合】を選択します。 ターゲットボディにフタ、ツールボディに真ん中の蝶番だけを選択し、 【操作】を結合に選択し結合します。







6-5 次にフタ2と残りの蝶番をくっつけていきます。 フタ2を選択し、右クリック【移動】で下矢印に20と入力し、 蝶番が重なるようにします。 フタ1の時と同様に【修正】の【結合】を選択し、 ターゲットボディにフタ2、ツールボディに蝶番2つを選択し結合します。



6-6 これでフタと蝶番がそれぞれくっつきました。 3D データに抽出するのであればこの操作までで完成になります。 Fusion 360



⑦余談

7-1 ピッタリとちゃんとくっついてるのか確認したいという方もいると思うので、 2つのフタを合わせてみたいと思います。 ここで使用するのが【修正】の【位置合わせ】です。



7-2 位置を合わせたいオブジェクトを選択していきます。 始点にフタ1の溝となっている内側の円、 終点にフタ2の同じく溝となっている内側の円を選択します。



ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ファッションアートアクセサリーコース 柳瀬 しずく 青木 愛実